

全国安全週間にあたり

署長パトロールを実施しました

令和8年7月1日



パトロールを実施する水戸労働基準監督署長（右）

令和8年7月1日、水戸労働基準監督署長（署長 中村 剛）は、全国安全週間に際し、管内の事業場である株式会社金陽社岩間工場において安全パトロールを実施しました。

パトロール先である株式会社金陽社はゴムロールの製造を手掛けており、ゴムロールは印刷、フィルム、製鉄、製紙、繊維、合板、OA 機器他の様々な産業の製造工程などで広く使用され、「印刷」「塗布」「圧着」「絞り」「押え」「張り合わせ」「型押し」「巻き取り」「搬送」など多くの役割を担っている産業部品です。

株式会社金陽社では、「第5回全社安全標語 最優秀賞 「大丈夫」その思い込みが 事故の種」を安全標語として安全週間における様々な労働災害防止活動が行われており、機械の安全対策、化学物質対策、熱中症対策、整理整頓の状況等を確認するとともに、デジタルサイネージを利用した情報の共有や労働者各人の安全宣言活動等、従業員一人一人に寄り添った労働災害防止活動が推進されていました。

また、工場内には「ロールへの巻き込まれ」や「静電気による発火・爆発」の危険性が体感できる設備が設けられ、高い安全意識の下で定期的に教育が行われていることを確認しました。

パトロール後の総括において、水戸労働基準監督署長は、取組を継続し、労働災害の防止を図っていただきたいと訴えかけました。